

2022年6月6日

CASBEE[®] 戸建評価認証 申請ガイド



本ガイドは、予告なく変更する場合がありますので予め御了承ください。申請に際しては、担当者にご確認ください。

目次

1. はじめに	1
2. 申請における留意事項	2
3. 手続き等の流れ	3
4. 申請図書	
4 - 1. 申請図書の体裁	4
4 - 2. 申請図書の構成	6
4 - 3. 申請図書の内容	7
5. その他	12
6. 手数料について	13
7. お問い合わせ先	14

様式

CCF-01-2	CASBEE戸建評価認証申請書兼掲載承諾書
CCF-04-2	CASBEE戸建評価認証取り下げ届
CCF-05-2	CASBEE戸建評価認証申請内容変更申告書
CCF-08-2	委任状

参考

参考資料1 チェックシート記入例

参考資料2 計算表記入例

1. はじめに

「CASBEE-戸建（新築）」は、戸建住宅の環境性能を格付けして見える化するための評価システムです。この評価システムでは戸建住宅の省エネ性や省資源化、リサイクルへの取り組みといった環境負荷低減の側面はもとより、室内の快適性や周辺環境、まちなみ、景観などへの配慮といった側面も含めた環境性能を総合的に評価します。

「CASBEE戸建評価認証」は、「CASBEE-戸建（新築）」の環境性能評価結果を、第三者に提供する場合の信頼性や透明性を確保するために、一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター（以下、「IBECs」とします。）から認定を受けたCASBEE評価認証機関が「CASBEE-戸建（新築）」による戸建住宅の評価を客観的に的確・妥当であるかを審査するものです。審査が終了すると認証マークを付したCASBEE評価認証書を交付します。

本ガイドは、CASBEE 戸建評価認証の申請を行う事業者向けの資料として、一般財団法人ベターリビング（以下、「ベターリビング」とします。）が行う新築*戸建住宅のCASBEE 戸建評価認証に関する事項を取りまとめた資料です。

※現時点で「既存住宅」のCASBEE 戸建評価認証は行われておりません。

2. 申請における留意事項

- (1) CASBEE戸建評価認証においては、審美性の評価はしません。各項目を評価する際、評価の考え方を定性的に評価するのではなく、できるだけ定量的に評価して下さい。
- (2) 評価の根拠を示す資料には、マーカー等を使用して、参照すべき部分を明示して下さい。
- (3) 申請する住宅に設置する設備機器等は具体的な機種を選定し、設置位置や型番等を図面に明記して下さい。機器が特定されず、性能値などの仕様のみ記載は認められません。

〔不適切な例〕 LR_H1_2.1.2 冷房設備

省エネ基準達成率107%以上の機種を選定（想定）する。

- (4) 評価ソフトは、随時、バージョンアップが行われています。申請する際には、評価ソフトが最新版である事を確認して下さい。

CASBEE-戸建（新築）	新築評価ソフト 2021 年版 SDGs 対応版 (v1.1)
---------------	---------------------------------

最新版は下記よりダウンロードする事が出来ます。

<https://www.jsbc.or.jp/research-study/casbee.html>

- (5) 書籍や文献を根拠資料とする場合は、出典（書籍や文献の名称・出版社名等）を添付資料に記載して下さい。
- (6) 評価マニュアルを参照する場合には、下記の CASBEE ホームページの Q&A も合わせて確認してください。

https://www.IBECs.or.jp/CASBEE/qanda/qanda_home.htm

2-1 資料作成者の要件

CASBEE 戸建評価認証の引受は、CASBEE 戸建-新築の CASBEE 評価ソフトを用いて評価した結果及び4-2 に示す資料を添付することにより行います。

CASBEE 戸建評価認証の申請に係る CASBEE 評価ソフトを用いて行う評価は、CASBEE 評価登録制度要綱第9条の規定により、IBECs に登録されている CASBEE 建築評価員の有資格者が行う必要があります。

2-2 新築に係る評価認証の有効期間

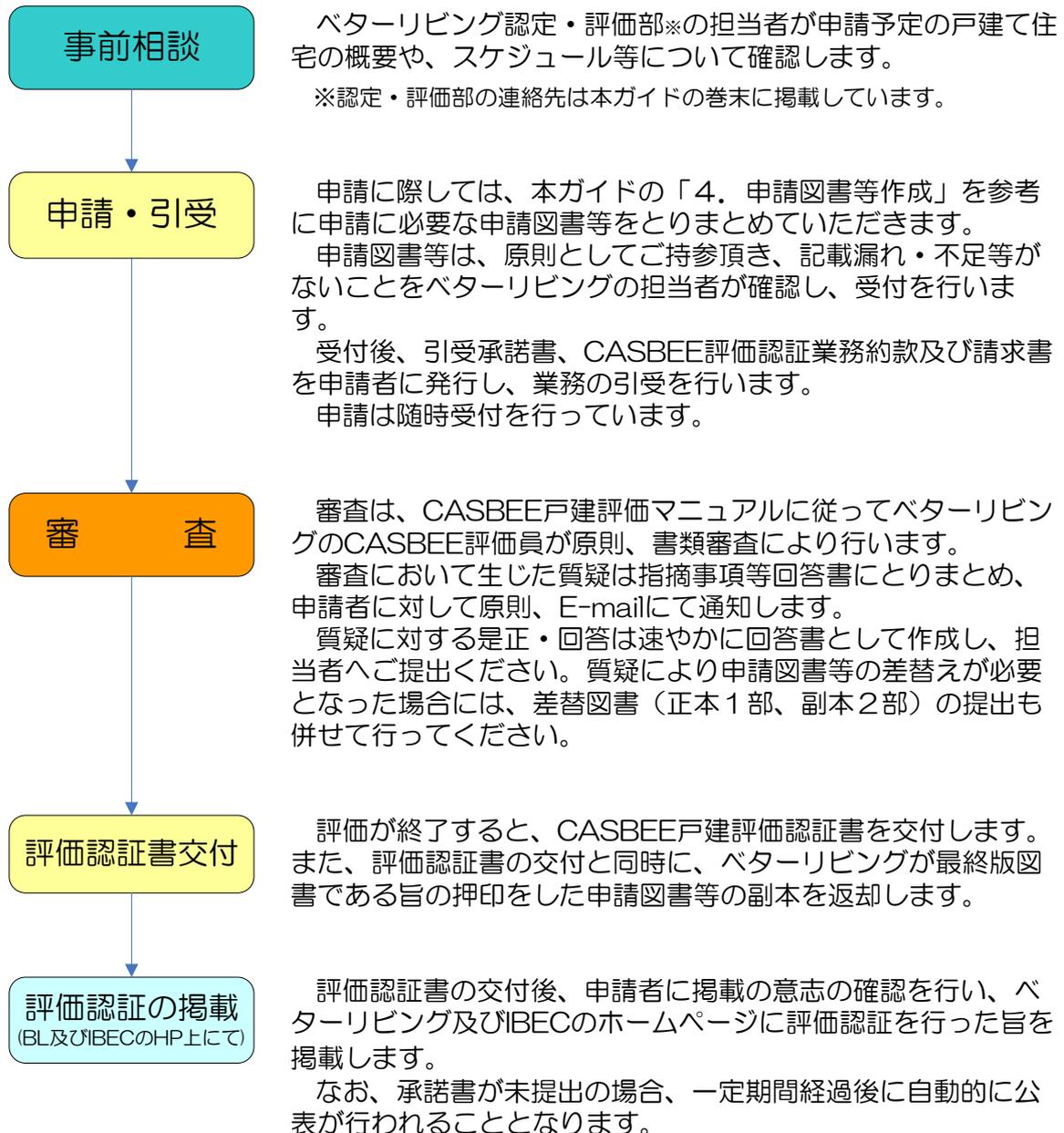
評価認証の有効期間は、新築段階における認証については竣工後3年となります。有効期間経過後、再認証を受けない場合には、単に過去に認証を受けた事実を表すものとなります。

2-3 SDGs チェックリスト（2021 年版以降）について

公開については任意となりますが、当該評価については評価機関による審査対象では無いことにご注意ください。

3. 手続き等の流れ

事前相談から評価認証の掲載、公表までの標準的な手続き等の流れは以下のとおりです。



4. 申請図書

4-1 申請図書の体裁

- ① 申請図書は A4 版のファイルにまとめて下さい。
- ② ファイルは厚紙等の表紙で、2穴ファイリング式としてください。
- ③ 評価住宅の全体概要を示す資料(CASBEE 戸建評価認証では「1次資料」とします。)は「1-1」、「1-2」、「1-3」、・・・、「1-10」のように資料番号を図面の右下に直接記載して下さい。
- ④ レベル4またはレベル5と評価する項目の根拠資料(CASBEE 戸建評価認証では「2次資料」とします。)は「2-1」、「2-2」、「2-3」、・・・、「2-16」のように資料の種類毎にインデックスを A4 版の用紙に貼り付け、資料の先頭に挟み込んで下さい。(図-2 申請図書の順番とインデックスの取り付けイメージを参照。)
- ⑤ 申請チェックシートの「資料 No」の欄には、1次資料及び2次資料に付けた番号の末尾番号に対応する数字を記載して下さい。(例：1次資料「1-6」であれば「6」と申請チェックシートに記載して下さい。)
- ⑥ 1次資料及び2次資料は A4 又は A3 用紙で作成して下さい。A3 用紙の場合には、A4 サイズに折って綴じ込んで下さい。
- ⑦ 表紙と背表紙は、図-1 の例に従って作成して下さい。
- ⑧ 申請チェックシート(Excel)を印刷する際、セルに入力した文字が表示しきれない場合がありますので適宜、セル幅やフォントの大きさ、文字の折り返しを調節し、文字全体が表示されるようにして下さい。

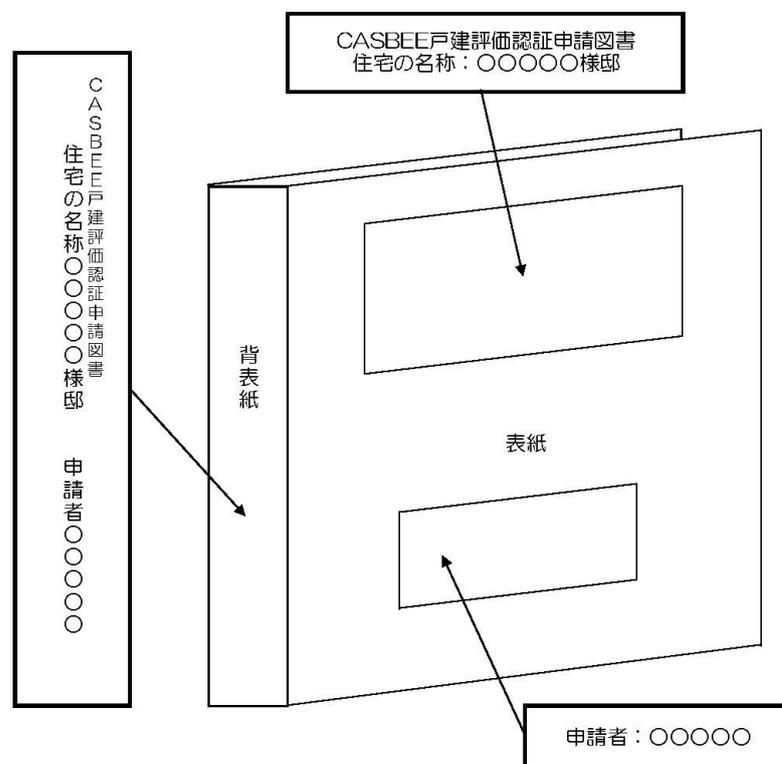


図-1 申請図書の表紙及び背表紙の作成例

CCF-01-2

平成〇〇年〇〇月〇〇日

一般財団法人 ベターリビング

理事長 井上 俊之 様

会社名 〇〇株式会社
申請者 代表取締役 〇〇〇〇
所在地 東京都千代田区富士見〇〇〇



CASBEE 戸建評価認証申請書

CASBEE 戸建評価認証制度要綱に基づく評価認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

記

1 建築物名称・建設地	名称：〇〇〇〇様邸 建設地：東京都千代田区富士見〇-〇-〇
2 設計者・施工者	設計者：〇〇株式会社 〇〇〇〇 施工者：〇〇株式会社 〇〇〇〇
3 構造・規模	■木造軸組、□ツーバイフォー、□鉄骨、□鉄筋コンクリート、 □（ ） 延べ面積：〇〇.〇〇㎡
4 竣工(予定)日	平成〇〇年〇〇月〇〇日 (■竣工予定、□竣工)
5 CASBEE評価ツール 評価段階	■CASBEE戸建-新築 (2010年版) □設計段階 ■竣工後入居前 □入居後
6 CASBEE評価書作成者 (CASBEE戸建評価員)	登録番号：〇〇〇〇-〇〇 氏名：〇〇 〇〇
7 連絡先等	会社名：〇〇〇〇株式会社 所在地：〒〇〇〇-〇〇〇〇 東京都千代田区富士見〇-〇-〇 部署名：設計部 役職名及び担当者名：主任 〇〇 太郎 電話：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 FAX：〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail：〇〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.or.jp
備考	請求書宛名は〇〇〇〇様あて、送付先は〇〇〇〇へ送付して下さい。

注) □の部分は、■または□により項目を選択して下さい。

CASBEE 戸建評価認証申請書

委任状

目次

CASBEE 戸建 - 新築評価ソフトのコピー

申請チェックシート

1次資料

(1次資料は概要書から順番に図面番号を記載して下さい) ⇒ 1-1

2次資料

(資料毎に A4 用紙にインデックスを取り付け、資料の先頭に挟み込んで下さい。)

- 2-1
- 2-2
- 2-3
- 2-0

図-2 申請図書の順番とインデックスの取り付けイメージ

4-2 申請図書の構成

申請図書の構成は表-1の通りです。

原則A4ファイル綴じとし、提出部数は2部（正本1部、副本1部）となります。

※副本の返却が不要な場合は電子申請も可能です。詳細はお問い合わせください。

表-1 申請図書の構成

構 成		備 考
1	CASBEE戸建評価認証申請書 (裏面CASBEE戸建評価認証 環境設計の配慮事項)	様式CCF-01-2
2	委任状	様式CCF-08-2
3	目次	目次例参照
4	CASBEE-戸建(新築)評価ソフトのコピー	
5	申請チェックシート	
6	評価住宅の全体概要を示す資料(概要書、案内図又は周辺図、配置図、内部外部仕上表、平面図、立面図、断面図、矩計詳細図、特記仕様書等)	1次資料
7	レベル4またはレベル5と評価する項目の根拠資料(1次資料以外の設計図、各種計算書、パース、写真、メーカーカタログ等)	2次資料
8	CASBEE-戸建(新築)評価ソフト(Excelデータ)	別途CD-ROM等にて提出して下さい。
9	申請チェックシート(Excelデータ)	別途CD-ROM等にて提出して下さい。

4-3 申請図書の内容

(1) CASBEE戸建評価認証申請書

- ① 申請書に記載している内容に基づき、請求書の発行、CASBEE戸建評価認証書を作成しますので、申請者名、住宅の名称・建設地、設計者・施工者、構造・規模、竣工（予定）日、CASBEE評価ツール/評価段階、CASBEE評価書作成者、連絡先の記載に間違いがないことを確認して下さい。
- ② 『3 構造・規模』 建築基準法上の構造、延べ面積を記載して下さい。「木造軸組」、「ツーバイフォー」、「鉄骨」、「鉄筋コンクリート」のチェックボックスのいずれかにチェックを入れて下さい。記載のない構造であれば、2行目のチェックボックスにチェックを入れ構造種別をカッコ内（ ）に記載して下さい。
- ③ 『4 竣工（予定）日』 竣工日を記載し、「竣工予定」、「竣工」のチェックボックスのいずれかに必ずチェックを入れて下さい。
- ④ 『5 CASBEE評価ツール/評価段階』 「設計段階」、「竣工後入居前」、「入居後」のチェックボックスのいずれかに必ずチェックを入れて下さい。
- ⑤ 『6 CASBEE評価書作成者』 CASBEE戸建評価はCASBEE戸建評価員の有資格者が評価を行う必要があります。CASBEE戸建評価員の氏名および登録番号を記載して下さい。
- ⑥ 『7 連絡先等』 審査時に質疑が発生した場合や請求書送付先に関する窓口になる物件の担当者の連絡先を記載して下さい。請求書の送付先が異なる場合は備考欄に請求書の宛名、送付先郵便番号、送付先会社名、送付先住所、担当者名を記載して下さい。
- ⑦ 環境設計の配慮事項（様式CCF-01-2裏面）に主な設計上の環境配慮の基本コンセプトを記載してください。

(2) 委任状

申請者以外が申請等の手続きを代理して行う場合には委任状の提出が必要になります。

申請者からCASBEE戸建評価認証申請を依頼された設計者、施工者の担当者を代理人として下さい。

『CASBEE戸建評価認証申請書』の記載内容が申請後に変更となる場合、委任状の代理人の訂正印で記載内容の修正は可能ですが、代理人以外は修正できませんのでご注意ください。

(3) 目次

申請図書の構成を『CASBEE戸建評価認証申請書』から順番に記載して下さい。（図-4 目次例参照。）

〇〇〇〇様邸 新築工事 CASBEE 戸建 - 新築評価認証

目 次

1. CASBEE 戸建評価認証申請書	
2. 委任状	
3. 目 次	
4. CASBEE 戸建-新築評価ソフト	
5. 申請チェックシート	
6. 1次資料（評価建築物の全体概要を示す資料）	
・概要書	1-1
・案内図	1-2
・配置図	1-3
・内部・外部仕上表	1-4
・平面図	1-5
・立面図	1-6
・断面図	1-7
・矩計詳細図	1-8
・特記仕様書	1-9
7. 2次資料（レベル4またはレベル5と評価する項目の根拠資料）	
・設計住宅性能評価書	2-1
・外皮計算書（ U_A 値、 η_A 値）	2-2
・一次エネルギー消費量計算書	2-3
・換気計算書	2-4
・有効採光面積計算書	2-5
・舗装面積率計算書	2-6
・電力負荷計算書	2-7
・設備配管図	2-8
・外構図	2-9
・外観パース・敷地周辺写真	2-10
・宅地造成報告書	2-11
・卓越風向データ	2-12
・維持管理計画・体制	2-13
・材積表、納材証明書、プレカット図	2-14
・引渡書類リスト（住まい方提示）	2-15
・ISO 認証書・広域認定書	2-16
・カタログ（開口部・ガラス）	2-17
・カタログ（外壁材・屋根材）	2-18
・カタログ（外構材）	2-19
・カタログ（エアコン）	2-20
・カタログ（換気設備）	2-21
・カタログ（給湯器）	2-22
・カタログ（水栓、衛生機器）	2-23
・カタログ（家電製品）	2-24
・カタログ（太陽光発電設備）	2-25
・カタログ（浴槽）	2-26
・カタログ（雨水タンク）	2-27
・カタログ（HEMS）	2-28

図-3 目次例

(4) CASBEE-戸建（新築）評価ソフト

CASBEE戸建評価認証申請の際、次のシートのみを印刷、添付して下さい。「CO₂データ」シート、「重み」シート、「クレジット」シートは添付しなくて結構です。

①「メイン」シート

評価対象となる住宅の基本情報（住宅の名称、建設地、電力会社、住宅の構造・構法、面積、竣工年など）を入力し、また、温暖化影響チャートの計算タイプを選択して下さい。

②「結果」シート

③「スコア」シート

④「CO₂計算」シート

⑤「配慮」シート

大項目ごとに計画・設計上特に環境に対して配慮したことを記載して下さい。

⑥「採点Q1」シート

CASBEE-戸建（新築）マニュアル「PartⅡ 3.3 採点基準」に基づき評価した結果を入力して下さい。「具体的な取組み」欄は申請チェックシートの評価の考え方に記載して頂きますので、本シートでの記載は不要です。

⑦「採点Q2」シート

CASBEE-戸建（新築）マニュアル「PartⅡ 3.3 採点基準」に基づき評価した結果を入力して下さい。「具体的な取組み」欄は申請チェックシートの評価の考え方に記載して頂きますので、本シートでの記載は不要です。

⑧「採点Q3」シート

CASBEE-戸建（新築）マニュアル「PartⅡ 3.3 採点基準」に基づき評価した結果を入力して下さい。「具体的な取組み」欄は申請チェックシートの評価の考え方に記載して頂きますので、本シートでの記載は不要です。

⑨「採点LR1」シート

CASBEE-戸建（新築）マニュアル「PartⅡ 3.3 採点基準」に基づき評価した結果を入力して下さい。「具体的な取組み」欄は申請チェックシートの評価の考え方に記載して頂きますので、本シートでの記載は不要です。

⑩「採点LR2」シート

CASBEE-戸建（新築）マニュアル「PartⅡ 3.3 採点基準」に基づき評価した結果を入力して下さい。「具体的な取組み」欄は申請チェックシートの評価の考え方に記載して頂きますので、本シートでの記載は不要です。

⑪「採点LR3」シート

CASBEE-戸建（新築）マニュアル「PartⅡ 3.3 採点基準」に基づき評価した結果を入力して下さい。「具体的な取組み」欄は申請チェックシートの評価の考え方に記載して頂きますので、本シートでの記載は不要です。

⑫「CO₂独自計算」シート

【他の公開されたLCAツールなどを使用して評価者が独自にライフサイクルCO₂を算定し評価する場合に「メイン」シートで温暖化影響チャートの計算タイプを「戸建独自計算」とした場合に、入力・印刷し申請図書として添付して下さい。（詳しくはCASBEE-

戸建（新築）マニュアル参照。）】

⑬「電気排出係数」シート

「メイン」シートで選択した電力会社の電気排出係数を確認し、また、任意の排出係数を使用する場合に使用します。ライフサイクルCO₂の計算に用いる電力会社実排出係数は毎年更新されています。最新の係数は環境省のホームページで確認してください。

<http://ghg-santeikohyo.env.go.jp/calc>

(5) 申請チェックシート

①『申請チェックシート』は「Checksheetシート（1シート全6枚）」と「計算表シート（4シート全4枚）」とで構成されています。申請の際は、以下に示す全てのシートを印刷し、添付して下さい。

- 1) 「Checksheet」シート（6枚で一式）
- 2) 「QH計算表」シート（1枚）
- 3) 「QH計算表（2）」シート（1枚）
- 4) 「LRH計算表」シート（1枚）
- 5) 「LRH計算表（2）」シート（1枚）

②『Checksheetシート、各計算表シート』は黄色に着色してあるセルが評価者の記入箇所です。数値を入力する際、半角数字にて入力して下さい。（参考資料1、参考資料2参照。）

③『Checksheetシート』の「確認の方法」欄は該当する確認方法を「○」で表示して下さい。（参考資料1参照。）

④「1次資料」欄、「2次資料」欄では該当する根拠資料に「◎」を表示して下さい。該当する資料の記載が無ければ、根拠資料名を記載し、「◎」を表示の上、根拠資料番号を記載して下さい。（参考資料1参照。）

⑤「評価の考え方」欄は全項目、評価した根拠を記載して下さい。

〔記載例1〕 Q_H2_1.1 躯体 レベル5の場合

劣化対策等級（構造躯体等）における等級3を満たすため、レベル5と評価した。

〔記載例2〕 Q_H2_1.1 躯体 レベル3の場合

建築基準法に適合するため、レベル3と評価した。

(6) 1次資料

1次資料の提出は必須とします。以下の図書を添付して下さい。

- 1) 概要書
- 2) 案内図又は周辺図（敷地周辺の地物等が判るもの）
- 3) 配置図
- 4) 内部・外部仕上表
- 5) 平面図（1階、2階、3階）
- 6) 立面図
- 7) 断面図
- 8) 矩計詳細図等
- 9) 特記仕様書

(7) 2次資料

以下の図書を参考にレベル4以上の評価を行った項目の根拠資料として添付して下さい。

- 1) 設計住宅性能評価書
- 2) 外皮計算書（ U_A 値、 η_A 値）
- 3) 一次エネルギー消費量計算書
- 4) 換気計算書
- 5) 有効採光面積計算書
- 6) 舗装面積率計算書
- 7) 電力負荷計算書
- 8) 設備配管図
- 9) 外構図
- 10) 外観パース・敷地周辺写真
- 11) 宅地造成報告書
- 12) 卓越風向データ
- 13) 維持管理計画・体制
- 14) 材積表、納材証明書、プレカット図
- 15) 引渡書類リスト（住まい方提示）
- 16) ISO 認証書・広域認定書
- 17) カタログ（開口部・ガラス）
- 18) カタログ（外壁材・屋根材）
- 19) カタログ（外構材）
- 20) カタログ（エアコン）
- 21) カタログ（換気設備）
- 22) カタログ（給湯器）
- 23) カタログ（水栓、衛生機器）
- 24) カタログ（家電製品）
- 25) カタログ（太陽光発電設備）
- 26) カタログ（浴槽）
- 27) カタログ（雨水タンク）
- 28) カタログ（HEMS）

5. その他

(1) 評価住宅の画像データの提出

評価認証書の別添となる評価結果シートに評価住宅の写真・パース等を貼付けして評価認証書を交付しますので、評価認証書の交付までに評価住宅の「画像データ」を E-mail 又は CD-ROM にて提出してください。画像データは JPEG 形式で 1MB 程度に軽く変換したものを提出して下さい。

(2) 最終評価ソフト、最終申請チェックシートの提出

評価認証書の別添となる評価結果シート及び、評価認証書を交付する際に「最終評価ソフト」、「最終申請チェックシート」を基に作成しますので、「最終評価ソフト」、「最終申請チェックシート」を E-mail 又は CD-ROM にて提出してください。

(3) 評価認証結果の公表

評価認証結果は、申請者の承諾により当財団及び IB ECS のホームページに掲載します。

ホームページへの掲載の内容について、必要事項を記入した「CASBEE 建築評価認証物件 掲載承諾書 (様式 CCF-07-2)」を評価認証書の交付時にお渡ししますので、掲載内容をご確認の上、申請者印を押印したものを提出してください。

また、承諾書の提出をしない場合は、一定期間経過後自動的に公表されることとなりますのでご注意ください。

(4) 申請の取り下げ

申請後、やむを得ない事情により評価認証の申請を取り下げる場合には、「評価認証取り下げ届 (様式 CCF-04-2)」を提出してください。取り下げを行った際に、既に評価認証に係る評価が行われている場合には、それまでの評価に掛かった費用を請求することとなります。

(5) 申請内容の変更

申請から評価認証書の交付までの間に、会社名、申請仕様等を変更した場合には、「CASBEE 建築評価認証申請内容変更申告書 (様式 CCF-05-2)」により申請内容の変更の申告を行ってください。

6. 手数料について

戸建住宅の認証に係る手数料は次の通りです。

戸建評価認証手数料	80,000 円（消費税別）
-----------	----------------

※1：ベターリビングが評価認証を行った戸建住宅を再評価する場合には、上記金額の70%が評価認証手数料となります。

※2：ベターリビングが評価認証書を再交付する場合の手数は、1通につき8,000円（消費税別）となります。

※3：申請引受後、ベターリビングより請求書を発行します。恐れ入りますが、振込手数料は、申請者にてご負担願います。振込先は以下の通りです。

振込先：みずほ銀行丸の内中央支店 普通 1811564 一般財団法人ベターリビング

7. お問い合わせ先

一般財団法人ベターリビング 認定・評価部

〒102-0071

東京都千代田区富士見二丁目7番2号ステージビルディング 7階

(事務所ビルへの入口は2階です。)

tel.03-5211-0591 fax.03-5211-0596



交通案内

電車利用

JR 飯田橋駅 東口改札 徒歩3分

有楽町線・南北線・東西線・都営大江戸線 飯田橋駅 A4出口 徒歩2分

一般財団法人ベターリビング
理事長 眞鍋 純 殿

申請者 会社名
代表者名
所在地

CASBEE戸建評価認証申請書兼掲載承諾書

建築物総合環境性能評価認証制度要綱に基づく評価認証を受けたいので、関係書類を添えて申請いたします。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。また評価認証後に、下記に記載の公開項目及び備考欄に記載の項目について、一般財団法人住宅・建築 SDGs 推進センター (IBECs) 及び一般財団法人ベターリビング (CBL) ホームページにおける認証物件一覧に掲載することを承諾します。

記

1 建物名称・所在地	<input type="checkbox"/> 公開	建物名称:
	<input type="checkbox"/> 非公開	
	<input type="checkbox"/> 公開	所在地(公開は市町村名迄):
	<input type="checkbox"/> 非公開	
2 設計者・施工者 ※IBECsホームページでは非公開	<input type="checkbox"/> 公開	設計者:
	<input type="checkbox"/> 非公開	施工者:
3 建物用途・規模	<input type="checkbox"/> 公開	用途: その他の用途※()
	<input type="checkbox"/> 非公開	※評価対象以外の用途が含まれる場合
	<input type="checkbox"/> 公開	延べ面積: m ² 地上 階、地下 階
	<input type="checkbox"/> 非公開	(うち評価対象範囲の延べ面積: m ²)
4 竣工年月日	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	年 月 日 (新築は予定でも可)
5 CASBEE評価ツール	公開	CASBEE-戸建(新築)(年版)
6 評価者氏名 ※評価を実施した者の氏名を記載	非公開	会社名:
		氏名: CASBEE-戸建評価員登録番号:
7 申請者	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	個人/法人名:
8 連絡担当者 ※連絡をさせて頂く際の担当者を記載	非公開	会社名: 所属・役職名: 氏名: 住所: 連絡先:(電話) (E-mail)
		請求書宛名:※上記と異なる場合のみ 請求書送付先:※上記と異なる場合のみ
9 物件画像(CG可) ※IBECsホームページのみ	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	
10 評価結果書	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	
11 評価ランク	<input type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開	
備考 評価認証後、本公開項目に加えて、認証日、有効期限とともにIBECs及びCBLホームページ上に掲載されます。(評価認証時まで掲載名称が変更となった場合は当該名称とします。)		
受付日		受付番号
		手数料額(税込)

以上

注)□の部分は、■または□により項目を選択して下さい。

CASBEE戸建評価認証 環境設計の配慮事項		
住宅名称		
申請者		
項目	設計上の配慮事項	主な環境配慮の具体策
総合		
Q _H 1 室内環境を 快適・健康・ 安心にする		
Q _H 2 長く使い続 ける		
Q _H 3 まちなみ・生 態系を豊か にする		
LR _H 1 エネルギー と水を大切 に使う		
LR _H 2 資源を大切 に使いゴミ を減らす		
LR _H 3 地球・地域・ 周辺環境に 配慮する		
その他		

委 任 状

年 月 日

一般財団法人ベターリビング
理事長 眞鍋 純 様

申請者

氏 名

住 所

私は _____ を代理人と定め、一般財団法人ベターリビングへの下記の住宅の CASBEE 戸建評価認証申請に係る手続き等に関する一切の権限を委任します。

記

1. 住宅の名称

2. 建設地

年 月 日

CASBEE 戸建評価認証取り下げ届

一般財団法人 ベターリビング
理事長 眞鍋 純 様

会 社 名
代 表 者 名
所 在 地 〒

電 話

年 月 日付の CASBEE 戸建評価認証申請について、下記の理由により申請を取り下げます。

記

1. 住宅の名称
2. 評価認証受付番号
3. 申請取り下げの理由

CASBEE 戸建評価認証申請内容変更申告書

一般財団法人 ベターリビング

理事長 眞鍋 純 様

会 社 名

代表者名

年 月 日付の CASBEE 戸建評価認証申請（住宅の名称： ）
 について、CASBEE 評価認証業務規程に基づき申請内容の変更を申告します。

受付番号：		住宅の名称：
環境配慮項目		変更内容説明欄
大項目	小項目	

〔記入事項〕

1. 「環境配慮項目」欄には、変更のあった配慮項目（大項目・小項目）をご記入下さい。
2. 「変更内容説明欄」には、具体的な変更の内容及び添付する設計図書等の名称を記載してください。
3. 添付する設計図書等は、変更前、変更後のものを正本1部、副本1部添付して下さい。

参考資料2 計算表記入例

QH計算表-1 (2019年版) 評価レベル S 建築物名称: OO邸

構造: 木造 規模: 00.00㎡

Q₀-112 日射の調整機能

開口番号	①ガラスの ※前付窓に配 ※前付窓に配 日射侵入率	②日射遮蔽材 材の遮蔽係数	③窓の 遮蔽係数	④開口ごとの 日射侵入率 ①×②×③	⑤開口面積 ㎡	⑥×⑤
1	0.41	1.00	0.70	0.29	2.24㎡	0.64
2	0.41	1.00	0.70	0.29	3.30㎡	0.95
3	0.41	1.00	1.00	0.41	1.82㎡	0.74
4	0.41	1.00	1.00	0.41	0.66㎡	0.27
5	0.41	1.00	1.00	0.41	0.66㎡	0.27
合計					8.68㎡	2.88
※<0.6 レベル4<0.65 レベル5 夏期<0.3 冬期>0.6						加重平均 0.331

数値は半角数字にて入力して下さい。

開口番号	①ガラスの ※前付窓に配 ※前付窓に配 日射侵入率	②日射遮蔽材 材の遮蔽係数	③窓の 遮蔽係数	④開口ごとの 日射侵入率 ①×②×③	⑤開口面積 ㎡	⑥×⑤
1	1.00	1.00	1.00	1.00		
2	1.00	1.00	1.00	1.00		
3	1.00	1.00	1.00	1.00		
4	1.00	1.00	1.00	1.00		
5	1.00	1.00	1.00	1.00		
6	1.00	1.00	1.00	1.00		
合計						
※<0.6 レベル4<0.65 レベル5 夏期<0.3 冬期>0.6						加重平均

Q₀-112 適切な冷房計画

開口番号	①ガラスの ※前付窓に配 ※前付窓に配 日射侵入率	②日射遮蔽材 材の遮蔽係数	③窓の 遮蔽係数	④開口ごとの 日射侵入率 ①×②×③	⑤開口面積 ㎡	⑥×⑤
6	0.41	1.00	1.00	0.41	1.82㎡	0.74
7	0.41	1.00	1.00	0.41	2.38㎡	0.98
8	0.41	1.00	1.00	0.41	2.38㎡	0.98
9	0.41	1.00	1.00	0.41	3.30㎡	1.35
10	0.41	1.00	1.00	0.41	1.82㎡	0.74
11	0.41	1.00	1.00	0.41	0.66㎡	0.27
合計					12.35㎡	5.06
※<0.6 レベル4<0.65 レベル5 夏期<0.3 冬期>0.6						加重平均 0.410

黄色の欄に数値を入力すると水色の欄は自動計算されますので、何も入力しないで下さい。

開口番号	①ガラスの ※前付窓に配 ※前付窓に配 日射侵入率	②日射遮蔽材 材の遮蔽係数	③窓の 遮蔽係数	④開口ごとの 日射侵入率 ①×②×③	⑤開口面積 ㎡	⑥×⑤
1	1.00	1.00	1.00	1.00		
2	1.00	1.00	1.00	1.00		
3	1.00	1.00	1.00	1.00		
4	1.00	1.00	1.00	1.00		
5	1.00	1.00	1.00	1.00		
6	1.00	1.00	1.00	1.00		
合計						
※<0.6 レベル4<0.65 レベル5 夏期<0.3 冬期>0.6						加重平均

Q₀-113 適切な冷房計画

開口番号	①ガラスの ※前付窓に配 ※前付窓に配 日射侵入率	②日射遮蔽材 材の遮蔽係数	③窓の 遮蔽係数	④開口ごとの 日射侵入率 ①×②×③	⑤開口面積 ㎡	⑥×⑤
1	1.00	1.00	1.00	1.00		
2	1.00	1.00	1.00	1.00		
3	1.00	1.00	1.00	1.00		
4	1.00	1.00	1.00	1.00		
5	1.00	1.00	1.00	1.00		
6	1.00	1.00	1.00	1.00		
合計						
※<0.6 レベル4<0.65 レベル5 夏期<0.3 冬期>0.6						加重平均

Q₀-120 適切な換気計画 (前所換気量換気量)

名称	必要換気量 (m³/h)	設置換気能力 (m³/h)
住戸が主たる居室 (フート付)	300	550
住戸が主たる居室 (フート付)	100	80
洗面所	40	45
浴室	60	-
脱衣所	60	-
廊下	60	-
合計	680	680

申請者は黄色の欄のみ記載して下さい。

開口番号	①ガラスの ※前付窓に配 ※前付窓に配 日射侵入率	②日射遮蔽材 材の遮蔽係数	③窓の 遮蔽係数	④開口ごとの 日射侵入率 ①×②×③	⑤開口面積 ㎡	⑥×⑤
9	1.65	1.00	1.00	1.65	2.00	3.30
10	1.65	1.00	1.00	1.65	1.10	1.82
11	1.65	1.00	1.00	1.65	1.10	1.82
12	1.65	1.00	1.00	1.65	0.60	0.66
13	1.65	1.00	1.00	1.65	0.60	0.66
14	1.65	1.00	1.00	1.65	0.60	0.66
15	1.65	1.00	1.00	1.65	0.60	0.66
16	1.65	1.00	1.00	1.65	0.60	0.66
17	1.65	1.00	1.00	1.65	0.60	0.66
18	1.65	1.00	1.00	1.65	0.60	0.66
合計					11.90	19.38
※<0.6 レベル4<0.65 レベル5 夏期<0.3 冬期>0.6						加重平均 27.94%

黄色の欄に数値を入力すると水色の欄は自動計算されますので、何も入力しないで下さい。

開口番号	①ガラスの ※前付窓に配 ※前付窓に配 日射侵入率	②日射遮蔽材 材の遮蔽係数	③窓の 遮蔽係数	④開口ごとの 日射侵入率 ①×②×③	⑤開口面積 ㎡	⑥×⑤
1	1.00	1.00	1.00	1.00		
2	1.00	1.00	1.00	1.00		
3	1.00	1.00	1.00	1.00		
4	1.00	1.00	1.00	1.00		
5	1.00	1.00	1.00	1.00		
6	1.00	1.00	1.00	1.00		
合計						
※<0.6 レベル4<0.65 レベル5 夏期<0.3 冬期>0.6						加重平均

Q₀-131 適切な冷房計画

名称	必要換気量 (m³/h)	設置換気能力 (m³/h)
住戸が主たる居室 (フート付)	300	550
住戸が主たる居室 (フート付)	100	80
洗面所	40	45
浴室	60	-
脱衣所	60	-
廊下	60	-
合計	680	680

取組みに該当すると判断した評価の考え方を定性的に評価するのではなく、出来るだけ定量的に評価し、記載して下さい。

開口番号	①ガラスの ※前付窓に配 ※前付窓に配 日射侵入率	②日射遮蔽材 材の遮蔽係数	③窓の 遮蔽係数	④開口ごとの 日射侵入率 ①×②×③	⑤開口面積 ㎡	⑥×⑤
1	1.00	1.00	1.00	1.00		
2	1.00	1.00	1.00	1.00		
3	1.00	1.00	1.00	1.00		
4	1.00	1.00	1.00	1.00		
5	1.00	1.00	1.00	1.00		
6	1.00	1.00	1.00	1.00		
合計						
※<0.6 レベル4<0.65 レベル5 夏期<0.3 冬期>0.6						加重平均